学校番号	218

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	2	第 3 学年	VISTAⅡ English Communication(三省堂) VISTAⅡ English Communication WORKBOOK (三省堂)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業は「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力を向上させることを目的とした実技的な授業です。英語で聞いたり読んだりしたことを基に、自分の情報や考えなどを話したり書いたりして他者に伝えることができるようになるために、授業の中では積極的に言語活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションの中でどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・確かな英語力を向上させるためには暗唱やスピーキング活動は欠かせません。授業の中ではアウトプット活動を重点的に行ないます。学んだことを他者に伝えようとする意識を持ちましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第 3 学年】履修科目 :「コミュニケーション英語Ⅱ」（２単位)、「英語演習」（４単位)、実用英語（２単位)、エンジョイ・イングリッシュＢ（４単位）主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・挨拶や簡単な自己紹介を即興で行うことができる。 ・身近な話題（学校・趣味・将来の夢など）について、絵や写真などを利用したり簡単な語句や文を使ったりして、自分の気持ちや考えを相手に伝わるように話すことができる。 ・学んだ内容について、ワークシート等を使って準備をすれば、概要・感想・意見を述べることができる。 ・身近な話題や学んだ内容について、ワークシート等を使って準備をすれば、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。	・インタビュー ・プレゼンテーション ・ワークシート ・スピーキングテスト	・学んだ内容について、キーワードが与えられれば、要約することができる。 ・学んだ内容について、キーワードが与えられれば、意見や感想を３文程度で簡潔に書くことができる。 ・つながりを示す語やフレーズを適切に用いて、分かりやすい文章を書くことができる。 ・身近な話題や自分のことについて、ワークシート等を使って準備をすれば、５文程度で具体的に書くことができる。	・ワークシート ・小テスト ・定期考査	・教室内で用いられる英語は、自然なスピードで話されてもほぼ理解でき、行動に移すことができる。 ・教科書のリスニング活動で聞く英語は、ある程度のまとまりのある話や会話であっても、概要や要点を捉えることができる。 ・初めて聞く英語でも内容や大切な情報をある程度聞き取ることができる。	・インタビュー ・ワークシート ・定期考査	・自主的に辞書を使いながら英文を精読し要点や詳細を捉えることができる。 ・英文を読み、概要や書き手の言いたいことを理解することができる。 ・読んだ内容について簡単な意見や感想を述べることができるように、考えながら読むことができる。 ・意味内容が聞き手に伝わるように音読することができる。	・ワークシート ・インタビュー ・音読テスト ・定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	・机間巡視によるワークシートのチェックや活動の観察 ・ペアや個人で行う言語活動を通して関心・態度・意欲を評価 ・生徒の応答 ・スピーキングテストや暗唱テストへの意欲	・ワークシートの確認 ・Ｑ＆Ａ活動での受け答え ・期間巡視による音読活動やアウトプット活動の取組確認 ・暗唱テスト ・スピーキングテスト	・ワークシートの確認 ・Ｑ＆Ａ活動や筆答テストで評価 ・スピーキングテスト	・ワークシートの確認 ・筆答テストで評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 （８時間）	アイルランドの地理、歴史、文化を学び、島国である日本との共通点を考えさせる。またアイルランドの人たちが自分の国の文化を誇りに思っていることを学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・本文中で学んだ原及・比較級・最上級を用いた英問に、適切に答えることができる。 （英会話テスト）	・原級・比較級・最上級を用いた英問英答を繰り返し練習し、英会話テストに積極的に取り組ませる。	・英問に対し、主語・動詞を含んだ文で適切に答えることが出来る。	・英会話テストを実施。
		「外国語表現の能力」			
		・本文内容についての質問に Yes/No で答える。 ・本文中で学んだ原級・比較級・最上級を用いた英問に、適切に答えることができる。 （英会話テスト）	・ワークシートを用いて本文内容の質問に英語で答える。	・本文内容についての質問に Yes/No で答えることができる。 ・英問に対し、主語・動詞を含んだ文で適切に答えることができる。	・ワークで用いたシートを提出する。 ・英会話テストを実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文を読み、アイスランドの文化を学び、また日本との共通点を理解する。	・本文内容をリスニング活動または音読活動を通して理解する。	・本文を読み、アイスランドの文化を学び、また日本との共通点を理解している。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・アイルランドの文化について理解する。 ・原級、比較級、最上級を用いた英文の使い方を理解する。	・本文中で用いられる意味や用法を確認する。	・アイルランドの文化について理解することができる。 ・原級、比較級、最上級を用いた英文の使い方を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 3 （８時間）	スペインのサグラダ・ファミリアがどのような建物であり、どういった歴史を持っているのかを知る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・本文の要約を暗唱し、サクラダ・ファミリアについて、他者に伝えるように発表する。	・本文の要約の暗唱を繰り返し練習し、他者に伝えることを意識させ発表する。	・本文の要約を暗唱し、サクラダ・ファミリアについて、他者に伝えるように発表することができる。	・暗唱テストを実施。
		「外国語表現の能力」			
		・サグラダ・ファミリアについての情報を他者に伝える。 ・本文内容についての質問に Yes/No で答える。	・ワークシートを用いて本文内容の質問に英語で答える。	・サグラダ・ファミリアについての情報を他者に伝える。 ・本文内容についての質問に Yes/No で答えることができる。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・モンゴルとアイスランドに住む人々がどのような生活を送っているかについて、読んだことを理解する。	・本文内容をリスニング活動または音読活動を通して理解する。	・モンゴルとアイスランドに住む人々がどのような生活を送っているかについて、読んだことが理解している。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・名詞を修飾する分詞を用いた文を理解する。	・本文中で用いられる意味や用法を確認する。	・・名詞を修飾する分詞を用いた文を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

Lesson 5 （１０時間）	エジプトのツタンカーメン王の墓や発見した当時の状況を学ぶ。またなぜ墓の中に花が入っていたのかを考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・本文の要約を暗唱し、当時のエジプトの状況やツタンカーメン王について、他者に伝えるように発表する。	・本文の要約の暗唱を繰り返し練習し、他者に伝えることを意識させ発表する。	・本文の要約を暗唱し、当時のエジプトの状況やツタンカーメン王について、他者に伝えるように発表することができる。	・暗唱テストを実施。
		「外国語表現の能力」			
		・当時のエジプトの状況やツタンカーメン王について、他者に伝える。 ・本文内容についての質問に英語で答える。	・ワークシートを用いて本文内容の質問に英語で答える。	・当時のエジプトの状況やツタンカーメン王について、他者に伝えることができる。 ・本文内容についての質問に英語で答えることができる。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文を読み、当時のエジプトの状況やツタンカーメン王について理解する。	・本文内容をリスニング活動または音読活動を通して理解する。	・本文を読み、当時のエジプトの状況やツタンカーメン王について理解している。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・使役動詞・関係代名詞 what を用いた文を理解する。	・本文中で用いられる意味や用法を確認する。	・使役動詞・関係代名詞 what を用いた文を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
Lesson 7 （１０時間）	ガラパゴス諸島に生息するユニークな生き物たちを知る。また観光地化しているために本来の生態系が崩れていることも学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・本文の要約を暗唱し、ガラパゴス諸島の自然環境の変化について、他者に伝えるように発表する。	・本文の要約の暗唱を繰り返し練習し、他者に伝えることを意識させ発表する。	・本文の要約を暗唱し、ガラパゴス諸島の自然環境の変化について、他者に伝えるように発表することができる。	・暗唱テストを実施。
		「外国語表現の能力」			
		・ガラパゴス諸島の自然環境の変化について、他者に伝える。 ・本文内容についての質問に英語で答える。	・ワークシートを用いて本文内容の質問に英語で答える。	・ガラパゴス諸島の自然環境の変化について、他者に伝えることができる。 ・本文内容についての質問に英語で答えることができる。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・ガラパゴス諸島に住む生物の生態系とそれを取り巻く自然環境の変化を理解する。	・本文内容をリスニング活動または音読活動を通して理解する。	ガラパゴス諸島に住む生物の生態系とそれを取り巻く自然環境の変化を理解している。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在完了進行形・形式目的語 it を用いた文を理解する。	・本文中で用いられる意味や用法を確認する。	・現在完了進行形・形式目的語 it を用いた文を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。

Lesson １０ （８時間）	アジアとヨーロッパにまたがる国トルコと日本の関係について学び、何がきっかけで両国の友好関係が深まったかを考えさせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・本文の要約を暗唱し、トルコと日本の関係について、他者に伝えるように発表する。	・本文の要約の暗唱を繰り返し練習し、他者に伝えることを意識させ発表する。	・本文の要約を暗唱し、トルコと日本の関係について、他者に伝えるように発表することができる。	・暗唱テストを実施。
		「外国語表現の能力」			
		・トルコと日本の関係について、他者に伝える。 ・本文内容についての質問に英語で答える。	・ワークシートを用いて本文内容の質問に英語で答える。	・トルコと日本の関係について、他者に伝えることができる。 ・本文内容についての質問に英語で答えることができる。	・机間巡視を行い言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・本文を読み、トルコと日本の関係について理解する。	・本文内容をリスニング活動または音読活動を通して理解する。	・本文を読み、トルコと日本の関係について理解している。	・ワークシートの取組状況・定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・過去完了形・強調構文を用いた文を理解する。	・本文中で用いられる意味や用法を確認する。	・過去完了形・強調構文を用いた文を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆答テストにおいて、知識が身についているかを判断する。